

LESSON_4

イメージの挿入

- ① 画像
画像の挿入 / 画像へのリンク設定
- ② 動画
Flash データの挿入 / YouTube の挿入

学習目標

Lesson4 では画像や動画といったイメージファイルの挿入方法を学習します。

LESSON

4-1

画像

画像ファイルは単に写真を載せるためのものではなく、WEB サイトを魅力的に見せるためのナビゲーションやアイコン・その他装飾などに画像を使用することも多く、見栄えの良いWEB サイトには欠かせないものです。ここでは、基本的な画像の呼び出し方と必要な設定について理解していきましょう。

画像の挿入

画像を表示するためには、**** タグを使用します。

HTML ファイルは、Excel や Word のように文書内に画像を埋め込むことはできないため、画像を表示する際は、表示したい画像を読み出すように指示する必要があります。指示する際には「**src=""**」という属性を追加して読み出す画像の保存場所を指定します。保存場所の指示方法は、前 Lesson で学習した相対パスや絶対パスを使用します。

画像ファイルを呼び出します。**** タグは単独では使用せず、srcや alt とセットで使用します。

「**src**」には、呼び出す画像ファイルの位置を、「**alt**」には画像の内容について記述します。

```
<html>
<head>
<title>
画像の挿入
</title>
</head>
<body>
<p>

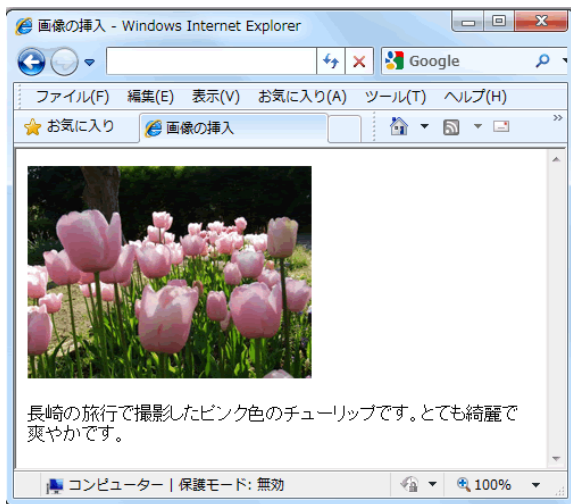
</p>
<p> 長崎の旅行で撮影したピンク色のチューリップです。とても綺麗で爽やかです。 </p>
</body>
</html>
```

新規メモ帳からファイルを作成する

- ① 新規にメモ帳を開き、左記のコードを入力しましょう。
- ② 入力が済んだら「**lesson4**」フォルダーにファイル名「**Lesson4-1-1.html**」とつけて保存しましょう。

チューリップの画像は素材「**lesson4**」 - 「**images**」フォルダーの「**pink.jpg**」を利用します。

画像の確認



ブラウザで確認しましょう。

写真が表示されました。

ファイルは引き続き使用します。

画像へのリンク設定

画像にリンクを指定する場合は `` タグをアンカータグ `<a>` で囲みます。

通常のリンクと同じようにアンカータグに `「href=""` や `「target=""` などの属性を指定できます。

画像へのリンク設定

```
<html>
<head>
<title>
画像へのリンク
</title>
</head>
<body>
<p>
<a href="http://www.huistenbosch.co.jp/"
target="_blank">

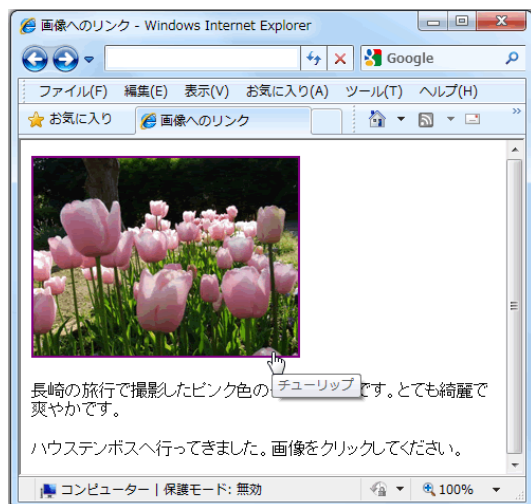
</p>
<p> 長崎の旅行で撮影したピンク色のチューリップで
す。とても綺麗で爽やかです。 </p>
<p> ハウステンボスへ行ってきました。画像を
クリックしてください。 </p>
</body>
</html>
```

① 左記の太字のコードを追記・編集しましょう。

② 入力が済んだら **「lesson4」** フォルダーにファイル名 **「Lesson4-1-2.html」** とつけて保存しましょう。

今回は外部サイトを開くため、別のウィンドウで閲覧できるように属性に **「target="_blank"」** を設定しています。

段落タグの入力



ブラウザで確認しましょう。

画像をクリックします。



別ウィンドウで

「ハウステンボス」のサイトが表示されました。

※ WEB サイトは随時更新されるため、画面が多少異なる場合があります。

alt 属性と title 属性

「img」タグの属性には、「alt」と似た属性で「title」という属性があります。

■ 「alt」とは？

画像を表示することができない環境の人に、画像の代わりに表示する代替テキスト。

(視覚障害者向けの web ページ読み上げソフトの画像部分での読み上げに使われたりもします)

■ 「title」とは？

画像に対しての説明や補足説明

IE や Firefox2.0 などのブラウザでは、画像の上にマウスカースルをのせるとその画像のポップアップには alt の内容が表示されていましたが、進化したブラウザでは、alt 属性では内容がポップアップされなくなりました。「alt 属性」がいずれ使用できなくなる、「非推奨要素」として指定されているため、徐々に使えなくなり始めています。

今後、最新のブラウザでポップアップを表示させるためには、title 属性を使用する必要があります。

画像が表示できない時に対応する alt に比べ、画像の補足説明的な位置づけで扱われる title は SEO 的な効果は低いと言われており、WEB ページにとって重要であるのは alt 属性と考えられています。

ただし、ポップアップを表示させることで補足説明ができればユーザーにとって分かりやすい作りになりますので、手間ではありますが、両方の属性を使用するのがもっとも効果的と言えます。